

2026年度 就実大学入学試験要項

大学のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

本学の建学の精神である「去華就実」を精神的規範とすることのできる、以下のような人材を受け入れます。必要な能力の具体的な水準や入試方法との関連等の詳細については、各学部各学科の入学者の受入れ方針にて定めます。

- 1 高等学校等において幅広い教科の科目を学び、本学における専門教育課程での学修に必要な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を十分に有している人
- 2 本学の基本目標である「実地有用」の考えを理解し、人への思いやりと奉仕心があり、文化や社会に貢献する意欲がある人
- 3 本学の教育分野と専門教育課程に興味と関心を持ち、本学において主体的に学ぼうとする学修意欲と目的を有している人

人文科学部のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

<求める学生像>

人文科学部は、幅広い教養の上に人文科学の知識と技能を身につけ、現代社会で活躍できる人材の育成を目指しています。本学部では、学部教育の目標と内容を理解し、主体的に学修に取り組むことのできる、次のような学生を求めます。

1. 言語と文化に広く関心をもち、人間の営為を探究する意欲のある人
2. 言語の運用能力の向上と幅広い教養の修得をめざす人
3. 学修成果を活かして、多様な価値観の共存する社会で主体的に考え行動する意思をもつ人

表現文化学科

<求める学生像>

表現文化学科は、日本の言語と文化についての深い理解力と幅広い学識を身につけ、それらを活かし、地域に根ざして現代社会を能動的に生きる人材の育成を目指しています。本学科では、学科教育の目標と内容を理解し、主体的に学修に取り組むことのできる、次のような学生を求めます。

1. 言語・非言語によるコミュニケーション能力の向上をめざす人
2. 日本文学・日本語の理解と探究をめざす人、あるいは言語・身体による創作をめざす人
3. 学修成果を活かして、現代社会の中で主体的に考え行動する意思をもつ人

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

入学者には、国語を中心に、本学科の専門教育課程を学ぶ上で必要な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）と、主体的に学び、協働する姿勢を求めます。

<入試方法についての方針>

- ①総合型選抜（自己アピール型）では、自己推薦書・出願資格を証明する書類で興味・関心のある分野に主体的に取り組んできた成果とその過程で得た将来への展望を審査し、調査書で高校における学習の成果を審査し、小論文と面接で主体的に学ぶ姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。特に以下のいずれかに該当する者を高く評価します。(1)地域の文化振興や社会貢献の活動に継続的に取り組み、中心的な役割を担った者、(2)言語・非言語にかかわらず、創作活動を継続的にこなっており、作品を対外的に発表している者（外部からの評価を得ていることが望ましい）、(3)校外での体育・文化活動を継続的にこなっており、外部からの評価を得ている者。
- ②総合型選抜（基礎学力型）では、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で国語と英語の基礎学力を、面接で主体的に学ぶ姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。調査書記載事項では、以下の点に注目します。(1)部活動や生徒会活動で中心的な役割を果たした者、正課外の活動で顕著

な成績をおさめた者, (2)実務系の資格を有する者, (3)総合的な探究の時間に取り組んだ課題を発展させ、継続的に取り組んでいる者（グループ活動の場合は、中心的な役割を担った者）。

- ③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で国語と英語の基礎学力を、面接で主体的に学ぶ姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。
- ④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で国語と英語の基礎学力を測ります。
- ⑤学校推薦選抜（小論文型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、小論文と面接で主体的に学ぶ姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。
- ⑥一般選抜では、学力試験で本学科の学修の基盤となる国語と関連科目の学力を審査します。
- ⑦共通テスト利用選抜A・Bでは、共通テストで本学科の学修の基盤となる国語を中心に学力を審査します。
- ⑧共通テスト利用選抜Cでは、共通テストで本学科の学修の基盤となる国語又は英語の学力を審査し、調査書で主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

実践英語学科

＜求める学生像＞

実践英語学科は、少人数クラスでのきめ細やかな教育・研究指導体制によって、実践的な英語運用能力を身につけ、グローバル化の進む諸領域で活躍する人材の育成を目指しています。本学科では、学科教育の目標と内容を理解し、主体的に学修に取り組むことのできる、次のような学生を求めます。

1. 積極的に英語の4技能の上達をめざす人
2. 英語圏をはじめとする諸外国・地域の社会・文化・思想・価値観などについて、幅広い教養を求め、主体的に学ぶ姿勢をもつ人
3. 学修した知識を基に専門的・学際的研究をする意欲のある人

＜入学者に求める知識・技能・能力・態度＞

入学者には、英語を中心に、本学科の専門教育課程を学ぶ上で必要な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）と、主体的に学び、協働する姿勢を求めます。

＜入試方法についての方針＞

- ①総合型選抜（自己アピール型）では、自己推薦書・出願資格を証明する書類で興味・関心のある分野に主体的に取り組んできた成果とその過程で得た将来への展望を審査し、調査書で高校における学習の成果を審査し、小論文と面接で主体的に学ぶ姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。特に以下のいずれかに該当する者を高く評価します。(1)地域の文化振興や社会貢献の活動に継続的に取り組み、中心的な役割を担った者、(2)特に上記(1)について、より望ましいのは、海外の人々とやりとりをするような取り組みで活躍した経験を有する者、(3)CEFR^{*1}でB1以上（実用英語技能検定2級以上、GTEC960以上など）の英語力を有する者。
- ②総合型選抜（基礎学力型）では、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を、面接で主体的に学ぶ姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。調査書記載事項では、以下の点に注目します。(1)部活動や生徒会活動で中心的な役割を果たした者、正課外の活動で顕著な成績をおさめた者、(2)特に上記(1)について、より望ましいのは、海外の人々とやりとりをするような取り組みで活躍した経験を有する者、(3)CEFR^{*1}でB1以上（実用英語技能検定2級以上、GTEC960以上など）の英語力を有する者。
- ③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を、面接で主体的に学ぶ姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。
- ④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を測ります。
- ⑤学校推薦選抜（小論文型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、小論文と面接で主体的に学ぶ姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。
- ⑥一般選抜では、学力試験で本学科の学修の基盤となる英語と関連科目の学力を審査します。
- ⑦共通テスト利用選抜A・Bでは、共通テストで本学科の学修の基盤となる英語を中心に学力を審査します。

- ⑧共通テスト利用選抜Cでは、共通テストで本学科の学修の基盤となる国語又は英語の学力を審査し、調査書で主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

総合歴史学科

<求める学生像>

総合歴史学科は、幅広い歴史の教養を基礎にして人文科学の知識と技能を身につけ、現代社会で活躍できる人材の育成を目指しています。本学科では、学科教育の目標と内容を理解し、主体的に学修に取り組むことのできる、次のような学生を求めます。

1. 世界のさまざまな事象に強い関心と探究心をもつ人
2. 歴史を学修する明確な動機と問題意識をもつ人
3. 国際社会で活躍するために、言語の運用能力の向上と幅広い教養の修得をめざす人

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

入学者には、歴史・地理を中心に、本学科の専門教育課程を学ぶ上で必要な学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）と、主体的に学び、協働する姿勢を求めます。

<入試方法についての方針>

- ①総合型選抜（自己アピール型）では、自己推薦書・出願資格を証明する書類で興味・関心のある分野に主体的に取り組んできた成果とその過程で得た将来への展望を審査し、調査書で高校における学習の成果を審査し、歴史に関する興味・関心を問う小論文と面接で歴史を主体的に学ぼうとする姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。特に以下の者を高く評価します。(1)地域の文化振興や社会貢献の活動に継続的に取り組んでいる者（外部からの評価を得ていることが望ましい）、(2)校外での文化・体育活動を継続的にこなしている者（外部からの評価を得ていることが望ましい）、(3)実務系の資格を有する者。
- ②総合型選抜（基礎学力型）では、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を、面接で歴史を主体的に学ぼうとする姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。調査書記載事項では、以下の点に注目します。(1)部活動や生徒会活動で中心的な役割を果たした者、正課外の活動で顕著な成績をおさめた者、(2)総合的な探究の時間に取り組んだ課題を発展させ、継続的に取り組んでいる者、(3)実務系の資格を有する者。
- ③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を、面接で歴史を主体的に学ぼうとする姿勢と思考力・判断力・表現力を測ります。
- ④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、適性検査で基礎学力を測ります。
- ⑤学校推薦選抜（小論文型）面接併用タイプでは、調査書で高校における学習と課外活動の成果を審査し、歴史に関する興味・関心を問う小論文および面接で、歴史を主体的に学ぼうとする姿勢と基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。
- ⑥一般選抜では、学力試験で歴史の学修の基盤となる科目の学力を審査します。
- ⑦共通テスト利用選抜A・Bでは、共通テストで歴史および現代社会の学修の基盤となる科目を中心に学力を審査します。
- ⑧共通テスト利用選抜Cでは、共通テストで歴史の学修の基盤となる科目を中心に学力を審査し、調査書で主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

※1 CEFR：Common European Framework of Reference for Languages（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）とは、外国語の運用能力を同一の基準で測る国際標準であり、学習者、教授する者及び評価者が、外国語の熟達度を同一の基準で判断しながら、学び、教え、評価できるように開発されました。CEFRの等級はA1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階に分かれており、その言語を使って「具体的に何ができるか」を示しています。（出典：BRITISH COUNCIL）
各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省（平成30年3月））は次のURLから確認できます。
https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11402417/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/__icsFiles/afeldfile/2019/01/15/1402610_1.pdf

教育学部のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

<求める学生像>

教育学部では、保育者・教育者としての優れた実践的指導力と自らの成長を創り出す力を備えた共生社会の形成に貢献できる人材を育成することを目的としています。そのため、子供たちを取り巻く様々なニーズや課題に関心を持ち、常に学び成長しようとする向上心のある人を求めます。

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

入学者には、本学部の教育に必要な以下の基礎的資質・能力を有していることを求めます。

- ①保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭になりたいという強い意志がある人
- ②入学後の学修に必要な基礎学力を身に付けている人
- ③根拠を示しながら筋道を立てて伝えたいことを表現できる人
- ④難しいことにも簡単に諦めず、仲間と共に粘り強く取り組む努力ができる人
- ⑤多様性を尊重し、協調性のある人

<入試方法についての方針>

学部教育に必要な基礎的資質・能力を多面的に審査するため、審査配分の異なる以下の選抜方法によって入学者の選抜を行います。

①総合型選抜（自己アピール型）

書類審査では、自己推薦書・出願資格を証明する書類及び調査書で、高校時代の活躍や実績を審査します。面接試験では、3分程度のプレゼンテーションの後、個人面接を行い、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指す意欲、主体性、表現力を中心に審査します。小論文では、保育、教育に関わる基礎的な知識及びそれらに対する自分の考えを明確に表現できる能力を審査します。

②総合型選抜（基礎学力型）

適性検査（国語と英語）では、入学後の学修に必要な基礎学力を審査します。書類審査（調査書）では、高校時代の学習と課外活動の成果を審査します。面接試験では、個人面接を行い、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指す意欲、主体性、協調性、向上心などを中心に審査します。

③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプ

適性検査（国語と英語）では、入学後の学修に必要な基礎学力を審査します。書類審査（調査書）では、高校時代の学習と課外活動の成果を審査します。面接試験では、15分程度のグループディスカッションの後、集団面接を行い、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指す意欲、協調性、コミュニケーション能力などを中心に審査します。

④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプ

適性検査（国語と英語）では、入学後の学修に必要な基礎学力を審査します。書類審査（調査書）では、高校時代の学習と課外活動の成果を審査します。

⑤一般選抜

学力試験（主に国語と英語）を行い、入学後の学修に必要な基礎学力を審査します。

⑥共通テスト利用選抜A・共通テスト利用選抜B

国語と英語を必須とする3科目の得点を基に、基礎学力を審査します。

⑦共通テスト利用選抜C

国語と英語のうち1科目の得点を基に、入学後の学修に必要な基礎学力を審査します。書類審査（調査書）では、高校時代の学習と課外活動の成果を審査します。

心理学部のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

<求める学生像>

心理学部では、心理学の学びを基礎に、心身の健康をはじめとする社会の課題を主体的・協働的に課題を解決することができる専門家（心理師（士）・養護教諭）及び職業人を育成することを目的としています。よって、本学科では、人と関わることが好きで、心身の健康を支えケアすることや他者と協働して社会の課題を解決す

ることに喜びを見いだすことができる人を求めます。

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

入学者には、本学部の教育に必要な以下の基礎的資質・能力を有していることを求めます。

○目的意識

心理学に強い関心を持ち、それを生かして社会問題の解決を試みる強い意欲を有している。

○知識・技能

理系・文系を問わず高等学校の教育課程を幅広く学び、入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

○思考力・判断力・表現力

論理的に考え、選ぶ力、伝えたいことを相手の立場に立ってわかりやすく表現できる能力を有している。

○主体性・多様性・協働性

主体性を持って多様な他者と協働する力、探究心を持って向上し続ける力を有している。

具体的には、学内外において、心身の発達・健康の多様性を受け入れて人と人との絆をつなぐ活動に自主的に参加し、努力したり仲間と協力したりした実績や心身の発達・健康の多様性に関する探究活動の実績を有している。

<入試方法についての方針>

学部教育に必要な基礎的資質・能力を多面的に審査するため、審査配分の異なる以下の選抜方法によって入学者の選抜を行います。

- ①総合型選抜（自己アピール型）では、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性及び目的意識を総合的に審査します。書類審査、面接（プレゼンテーションを含む）及び小論文により、基礎学力、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性や目的意識を審査します。
- ②総合型選抜（基礎学力型）では、思考力・判断力・表現力、基礎学力及び主体性・協働性・探究力を総合的に審査します。書類審査により、基礎学力及び主体性・多様性・協働性を審査します。面接により、思考力・判断力・表現力及び主体性・多様性・協働性を審査します。適性検査（国語と英語）により、基礎学力を審査します。
- ③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプでは、基礎学力を重視します。書類審査により、基礎学力及び主体性・多様性・協働性を審査します。面接により、主体性・多様性・協働性、思考力・判断力・表現力を審査します。適性検査（国語と英語）により、基礎学力を審査します。
- ④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、基礎学力を重視します。書類審査により、基礎学力及び主体性・多様性・協働性を審査します。適性検査（国語と英語）により、基礎学力を審査します。
- ⑤一般選抜では、学力試験（英語を主とし、国語、生物、数学から選択）により、基礎学力を審査します。A日程では、学科試験（国語と英語）により、基礎学力を審査します。B日程では、学科試験（英語を必須とし、国語、生物または数学から1科目選択）により、基礎学力を審査します。
- ⑥共通テスト利用選抜A・共通テスト利用選抜Bでは、国語と英語を必須とする3科目により、基礎学力を審査します。
- ⑦共通テスト利用選抜Cでは、国語と英語のうち1科目により、基礎学力を審査します。加えて、書類審査により、基礎学力及び主体性・多様性・協働性を審査します。

経営学部のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

<求める学生像>

経営学部では、現代社会が抱える多様な問題について学び、特定の分野に固執することなく豊かな教養を身に付けて、グローバルに物事を考えながら、地域社会や経済の発展に貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。この目標を達成するために、経営学への強い関心と高い学習意欲を有するとともに、世界や地域に貢献したいという熱意を持ち、いろいろな課題に自らチャレンジする学生を求めます。

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

経営学部の教育目標を実現するために、入学までに学生は次のような能力・資質を身につけていることが期待されます。

○知識・技能

経営学部では、世界と地域におけるさまざまな現実を学修の対象とするため、世界と地域に対する知識と興味・関心、さらに大学における学修の基礎となる高等学校卒業相当の基礎学力を有すること。

○思考力・判断力・表現力

経営学部では、言語や価値観の異なるさまざまな人々と協働できる人材の育成を目指しているため、説得力の基礎となる論理的思考力、さらに自らの考えを分かりやすく記述・発言できる表現力に優れていること。

○主体性・多様性・協働性

経営学部では、専門知識を活かして地域や社会に貢献する人材の育成を目指しているため、学修の目的意識が明確で、仲間とともにいろいろな課題に取り組む姿勢があること。

また、入学前教育等の修学の準備に、主体的に取り組む向学心を有すること。

<入試方法についての方針>

- ①総合型選抜（資格・検定型）では、小論文で基礎学力および思考力・判断力・表現力を測り、面接と書類審査で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。出願資格にあるように、簿記・会計・情報などの資格・検定を重視します。また、英語の資格・検定を重視します。
- ②総合型選抜（基礎学力型）では、適性検査（国語と英語）で基礎学力および思考力・判断力・表現力を測り、面接と書類審査で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。
- ③学校推薦選抜（基礎学力型）面接併用タイプでは、適性検査（国語と英語）で基礎学力および思考力・判断力・表現力を測り、面接と書類審査で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。
- ④学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、基礎学力を重視します。書類審査により、思考力・判断力・表現力および主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。
- ⑤学校推薦選抜（小論文型）面接併用タイプでは、小論文で基礎学力および思考力・判断力・表現力を測り、面接と書類審査で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。
- ⑥一般選抜では、国語と英語で基礎学力および思考力・判断力・表現力を測ります。
- ⑦共通テスト利用選抜では、英語を中心に基礎学力および思考力・判断力・表現力を測り、共通テスト利用選抜Cでは調査書で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。

薬学部のアドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

<求める学生像>

薬学部では、「生命の尊厳を基盤とした強い使命感と高い倫理観のもとに、医療・福祉に貢献できる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた薬剤師の育成」を目標としています。このような薬剤師を目指すには、理科学科（特に化学・生物・物理）はもちろん、数学・国語・英語などの基礎学力が必要となります。その上で、医療人としての自覚をもった信頼される薬剤師として、広く社会に貢献したいという強い意欲をもつ人を求めます。

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

○知識・技能

1. 薬学専門科目の学修に必要な理科、数学、国語等の基礎的な学力

○思考力・判断力・表現力

2. 探求心と洞察力をもち、新しい課題に柔軟に取り組む意欲
3. 高校レベルの表現力や論理的思考力とそれに基づく判断力・行動力

○主体性・多様性・協働性

4. 医療人として人々の健康と福祉に貢献したいという強い意志
5. 目標を掲げ、主体的に学ぼうとする学習意欲と高い向学心
6. 豊かな人間性とコミュニケーション能力をもち、相手を理解し対応する力

<入試方法についての方針>

薬学部では、アドミッション・ポリシーに掲げるような人材を求めて、次の①～⑤の多様な選抜を行って

ます。

- ①総合型選抜（基礎学力型）では、将来薬剤師になるという強い意志をもち、化学の知識を有するだけでなく、自己を表現する力とコミュニケーション能力ももち合わせる総合的な学力をもつ人を求めます。
適性試験（化学）により、基礎学力・知識及び思考力を評価します。調査書や志望理由書の記載内容により、向学心や意欲、行動力などを、面接により、判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度や協働性を評価します。
- ②学校推薦選抜（基礎学力型）面接なしタイプでは、化学の十分な知識や技能をもち、それをもとにした論理的な思考力をもち合わせ、主体的に学ぼうとする意欲と向学心のある人を求めます。
適性検査（化学）により、基礎学力・知識及び思考力を評価する。調査書の記載内容により、向学心や意欲、行動力などを評価します。
- ③学校推薦選抜（小論文型）面接併用タイプでは、科学的な知識をもとに問題点を見つけて、解決のための思考力や判断力をもつ人を求めます。また、自分の考えを上手に表現し、他と協働して学び、向上している人を求めます。
小論文により、知識、表現力や課題解決に必要となる思考力、判断力を評価します。調査書の記載内容により、向学心や意欲、行動力などを、また面接により、主体的に学習に取り組む態度や協働性を評価します。
- ④一般選抜では、薬学を学ぶための多様な学力をもつ人を求めます。薬学を学ぶために必要な化学または生物の知識・思考力を重視した上で、英語または数学の力を併せもつ人を求めます。
A日程では、学科試験（化学・英語）により、基礎学力・知識及び思考力を評価します。
B日程では、学科試験（化学または生物及び英語または数学）により、基礎学力・知識及び思考力を評価します。
- ⑤共通テスト利用選抜では、自然科学分野、国語、英語やリスニングなど、多様な能力をもち、新しい課題に柔軟に取り組むための基礎力のある人を求めます。
大学入学共通テストの成績により、基礎学力・知識及び思考力を評価します。一部入試区分では、これに加え調査書の記載内容により、向学心や意欲、行動力などを評価します。